

令和3年度第3回北名古屋市行政改革推進委員会 会議録

○ 会議概要

1 議題

「持続可能な行政運営に向けた事務事業見直しについて」の答申書（案）について

<事務局>

【1 議題 「持続可能な行政運営に向けた事務事業の見直しについて」の答申書（案） についての説明】

<会長>

本日、市長への答申を行う。答申書（案）の意見や何かお気づきの点があれば何でも構わないので発言をお願いしたい。

<A委員>

北名古屋市は子どもに関する取組を積極的にやってくれている。外部からも評価されている。ただ、実態としては放課後の子どもの居場所をどのようにケアしていくか不安がある。人的、施設の的にも足りていない。地域で子どもたちを見守っていく必要があるが人材が足りていない。人材を掘り起こす支援が必要だと感じている。

<B委員>

コロナにより、イベントが中止されたり、事業がなくなったり、財政状況が悪化したりと影響を受けた。今後それらを復活させる時はそれはそれで労力がかかる。そこに注力できるかが問題。

<C委員>

市民の理解を得ることが大事であり、答申書の中にも盛り込まれている。情報発信はまだ不十分である。LINEに載せるだけではだめ、全世代に周知する必要がある。伝える側がもっと意識しなくてはいけない。

また、民間委託について、はたして経費削減になるのか、意味があるのか、疑問に思っていた。よく検証してほしい。

<D委員>

コロナ禍で情報弱者の高齢者が非常に大変であったと感じている。北名古屋市の公共施設はどこよりも早く閉鎖され、どこより遅く開館しているのはなぜかという話を聞く。高齢者は喫茶店に行くのも怖く、安全な公共施設だからこそ利用したいという声もあった。本当に市民のためなのかというのを考えていかなくてはならない。市民のための行政が行政のための行政になっていないかを感じた。

<会長>

コロナは危機管理なので行政のための行政という指摘はつらいものがあるが、情報が

伝わっていないというのは事実であるため、反省点として捉えていく必要があるのではないか。

< E 委員 >

客観的な視点で見させてもらった。前回は財政状況について話を聞くことができて非常にありがたかった。事務事業見直しを進めていく上での裏付けが必要であった。そういった意味でも答申に深みが出た。今回の答申に基づいて改革を進めてほしい。

< F 委員 >

他市との関わりが多く、他市はどうなのかという視点で見ている。コロナで様々な事業を中止したりしているが、今後どのように戻していくか、市によって特徴が出る。そこに独自性があり、何を優先していくか市民に発信していくべき。

また、E 委員も言われたが、財政的な視点で説明を受けることができたのは非常に良かった。市民と現状認識を共有していくことが大事であり、丁寧に説明していくべき。

< G 委員 >

東西を合併後、未だに東だ西だという声がある。図書館の統合に対し、市民が反応したように、もっと丁寧な説明が必要であったのではと感じる。東西の施設の最たるものに庁舎があると思うが、老朽化が進んでいるので、そこは解決しないといけない。

市民に対して長期的なビジョンを示さなくてはならない。駅前の活性化、地の利を生かした質の高い住環境を整備できれば今後も人は増えていくと思う。今後の課題となる。

先ほど C 委員から民間委託についての話があったが、民間委託の際には災害時の対応など「公共の責任」についてよく考える必要がある。

< H 委員 >

公共施設のソフト面、ハード面の両方の視点から見ている。ハード面では災害に耐え得る施設が必要。公共施設は老朽化が進み、南海トラフ地震に耐えられるか心配である。ソフト面においても時代の変化やニーズに合わせた施設にしていかななくてはならない。

< 会長 >

答申書について案のとおりとしてよろしいか。

(異議なし)

みなさん承認いただけたので、答申書をこの後市長へお渡しする。

<事務局>

【2 答申】

会長より答申書の概要説明。

答申書手交



<事務局>

【3 報告事項 第2次北名古屋市総合計画第1次実施計画及び第2期北名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況についての説明】

<A委員>

資料3 総合戦略の基本目標3の施策3保護者・地域住民による学校支援参加者数は目標値がすごい高いが、現状は数値が減っている。もっと市からアナウンスしなければいけない。高い目標に対して、意識は低いと感じる。

<事務局>

コミュニティスクールを目標に立てた数値である。コロナの影響があるが、それを考慮しても低い。担当課にご意見を伝えていきたい。

<C委員>

土曜英語教室は事業廃止されているはず。事業がなくなったものやKPIをすでに達成したものはどのように評価すればよいのか。達成したものは次の目標を設定すべきではないか。

<事務局>

5年の計画であるため、その都度個別の対応はしないが、改定時にまとめてしっかり対応したい。また、KPIを入れかえることは考えていないが、事業の進捗が分かる別の資料をあわせて提出し、KPIを補完していきたい。

< F 委員 >

増加・減少の要因をすべてコロナとしていいのか。コロナが原因と言われると評価する側も思考停止になる。それ以外の要因についてもよく考えるべきである。

< 会長 >

マイナンバーカードの普及率は国が 100%を目指すと言っているので、市の目標も 100%にしなくてよいのか。

< G 委員 >

不妊治療費助成件数は基準値、実績値、目標値が同数となっているが、これは予算上の上限件数なのでは。希望者はもっといるはず。

< 会長 >

今後、まずは指標や K P I の内部評価をしていく中でしっかり整理していただき、外部評価に繋げて欲しい。

以上で本日予定していた会議は全て終了した。長時間にわたり議論いただきありがとうございました。

これにて委員会を閉会とする。

【閉会】

配布資料	資料 1	「持続可能な行政運営に向けた事務事業見直しについて」の答申書（案）について
	資料 2	第 1 次実施計画取組指標 進捗一覧表
	資料 3	第 2 期北名古屋市まち・ひと・しごと創生総合戦略 K P I 進捗一覧表